

本館図書館にも乱入

機動隊 無抵抗の学生に乱暴



ポル

本紙既報(一、二、三、四号)の通り、六月十一日、日大全学共闘会議は本校九二番教室に集合し「パレード・ストライキ一周年記念全学総決起集会」を開いた。午後三時から開始されたこの集会には約二五〇〇人の日大生が参加し、九二番教室は満員となった。

集会後、学生は神田三崎町の経済学部再占拠を目指してテモに移ったが、警備中の約二〇〇〇人の機動隊がガス弾で規制を始めたために、これに投石で激しく抵抗し、四六名が逮捕された。

この日も機動隊はテモの開始と同時に本学前通りの交通を一旦遮断し、「機動隊解放区」を造り上げた。本学を囲むように陣を敷き、アリのはい出るすきもないようなモノ・モノしきであった。

機動隊は少しでも投石があるにあたりかまわず催涙ガスの水圧撃ちをくり返す。そのため一号館

ずされる。乱入する機動隊もはや記念館も、公衆場所、と化したのである。逃げ遅れた学生をつかまえる機動隊は容赦なく棍棒、タナで暴行を加えた。それは凄惨なものである。殴り、蹴り上げ、倒れたところを踏みつける。学生の顔はどれも例外なく血で染まる。それらの暴力はほとんど一般通行人や報道陣の見えないところで行なわれたのだ。なかには便所に入っているところを引きずり出されて、リンチされた女子学生もいた。

さらに一部の機動隊は職員の前にも関わらず本館から図書館に乱入し、中で勉強中の本学生約三〇〇名にひとりひとり身分証明書の提示を求めて検問し、約一時間間わたり取り調べた。

さらに四号館や本館地下の部屋センターにも入り、クラブ活動中の学生にも向かい明も関らず乱暴したのだ。

この後、機動隊は午後七時三十分すぎ引きあげた。こわした備品とケガ人を残して。

なお、この日は駿河台周辺の各種学校や大学はすべて警視庁出動の要請により休校処置がとられ、今への「異常状態」となっていたこの措置は、今後の闘争に大きな問題を提起するものと注目されてきた。

図書館乱入に抗議

学内各所に高田正次図書館事務長宛て、四月十二日の機動隊乱入

に関する事務長目録が掲示された。これは自衛隊に乱入したことに對し憤慨した学生が、中庭に集まり、同事務長を囲んで話し合った際に事務長が学長にその旨を伝えることを約束したので、口頭では信用できないから文書にして欲しいという要請のもとに、自ら文書を書き寄ったもの。

高田正次図書館事務長殿 私は貼り出すことなどは知るつもりもなかった。貼り出すのなら、その間の事情を前文か後文にする必要があると思う。あれではまるで私が積極的に貼り出したように見えます。

播示文は次の通り。
四月十二日の官署乱入に對し抗議書明文を発表したことは、本日の朝報を見て、何の効力もなかったことを痛感したので、学長にこのことを私は確義に伝え、大学が本日事態に對し、更に適切な処置をとることを進言する。

— K —